令和４年度指定管理鳥獣捕獲等事業（イノシシ）の捕獲と生息状況調査の結果

指定管理鳥獣捕獲等事業（以下、指定管理事業）及び生息状況調査の結果については保護管理ユニット（以下、ユニット）単位でとりまとめる。

１　捕獲の実施結果

１－１　令和４年度事業における捕獲結果

- くくりわなで 167 頭、箱わなで 46 頭の計 213 頭を捕獲し、目標捕獲数の 100 頭の倍以上の捕獲となった。
- CPUE は箱わながくくりわなよりも高い傾向を示したが、箱わなは幼獣の割合が高かった。
- 地域別では、くくりわなで市原市（I13 ユニット）が、箱わなで大網白里市（OS2）が高い CPUE を示した。
- 月別ではくくりわなでは 7 月と 10 月に、箱わなでは 10 月に高い CPUE を示した。
- 幼獣割合はくくりわなで 10 月をピークに増加傾向を示した。箱わなでは 8 月が最も高く、捕獲された 7 頭すべてが幼獣となった。

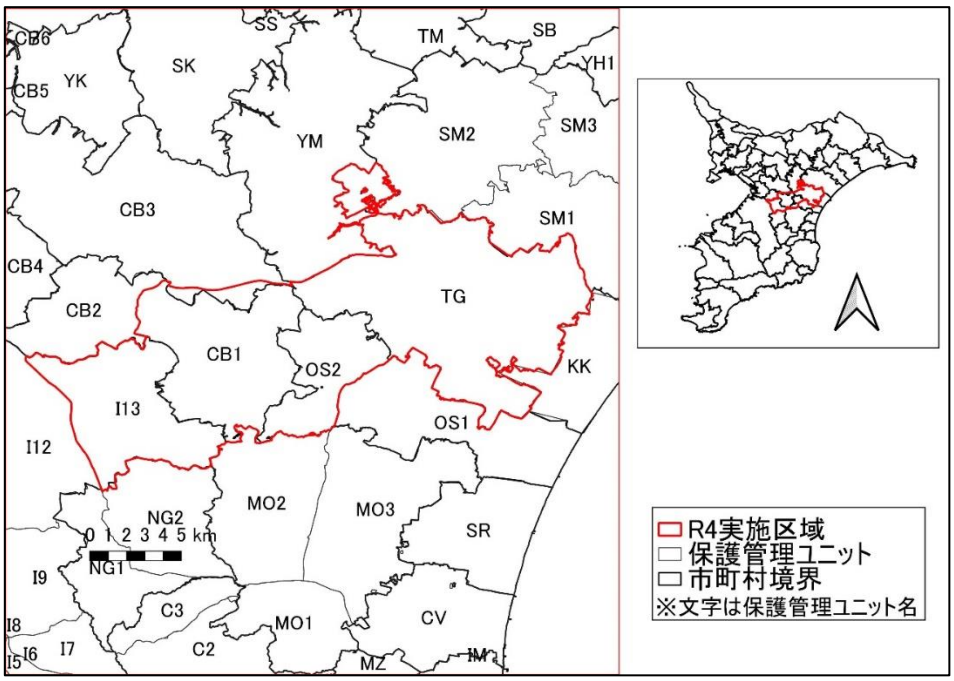

図１－１　事業区域および周辺の保護管理ユニット（県中部区域）

表１－１　ユニットごとのわな捕獲の作業及び捕獲状況

市町村	ユニット	わな日	捕獲数	CPUE	空はじき率（‰）	成獣メス割合（%）	幼獣割合（%）	オス割合（%）	幼獣/成獣メス比
くくりわな									
千葉市緑区	CB1	5,026	44	8.75	1.99	25.0	43.2	43.2	1.7
市原市	I13	5,456	65	11.91	16.86	23.1	47.7	50.8	2.1
大網白里市	OS2	5,610	42	7.49	4.28	26.2	50.0	45.2	1.9
東金市	TG	2,911	16	5.50	15.12	37.5	43.8	43.8	1.2
全域		19,003	167	8.79	8.95	29.3	68.3	46.7	2.3
箱わな									
千葉市緑区	CB1	238	2	8.40	0.00	0.0	100.0	50.0	
市原市	I13	472	22	46.61	12.71	18.2	72.7	50.0	4.0
大網白里市	OS2	238	20	84.03	0.00	5.0	85.0	80.0	17.0
東金市	TG	105	2	19.05	0.00	50.0	50.0	0.0	1.0
全域		1,053	46	43.68	5.70	13.0	78.3	60.9	6.0

※わな日はわな数×わな稼働日数により算出した

※空はじき率は（空はじき/わな日）×1000

※オス割合は成獣オス・幼獣オスの合算値

※幼獣/成獣メス比は幼獣個体数を成獣メス個体数で割った値。成獣メス捕獲数が０の場合は空欄。

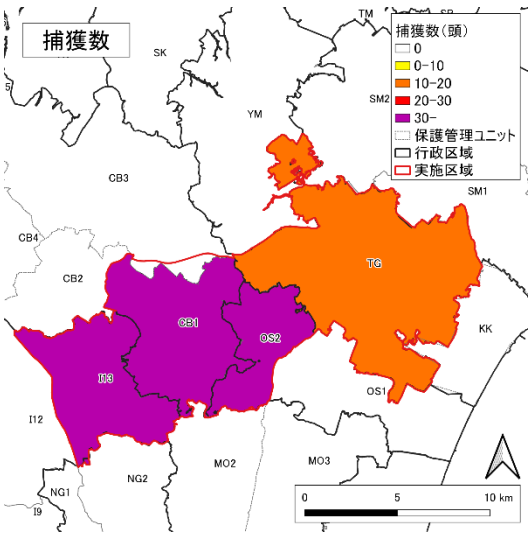

図１－２　捕獲数（合計）

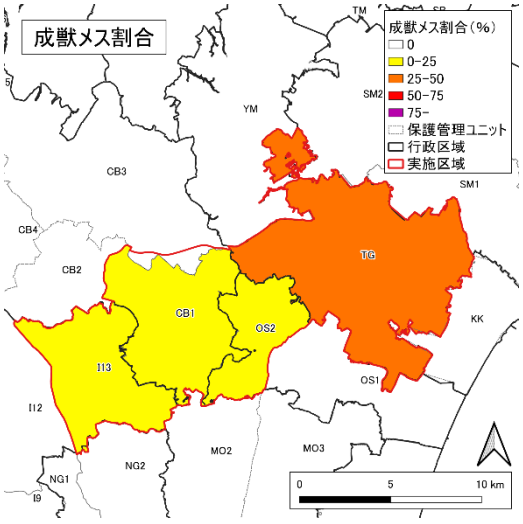

図１－３　成獣メス割合（合計）

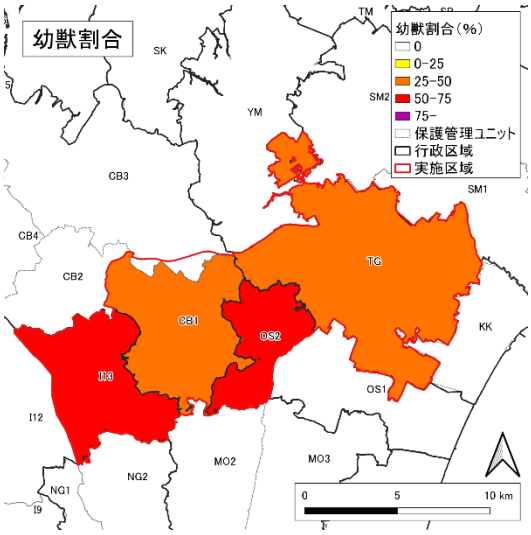

図１－４　幼獣割合（合計）

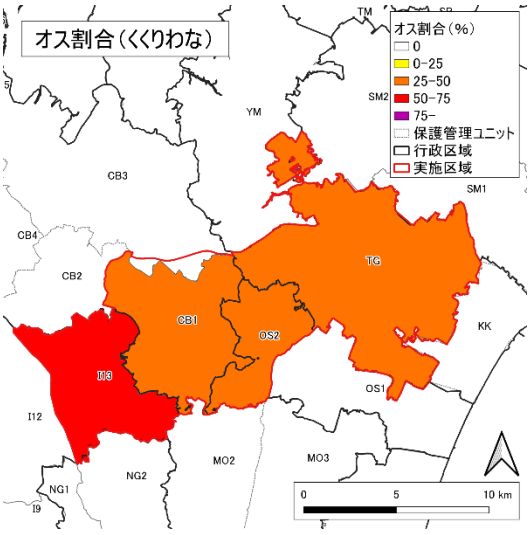

図１－５　オス割合（くくりわな）

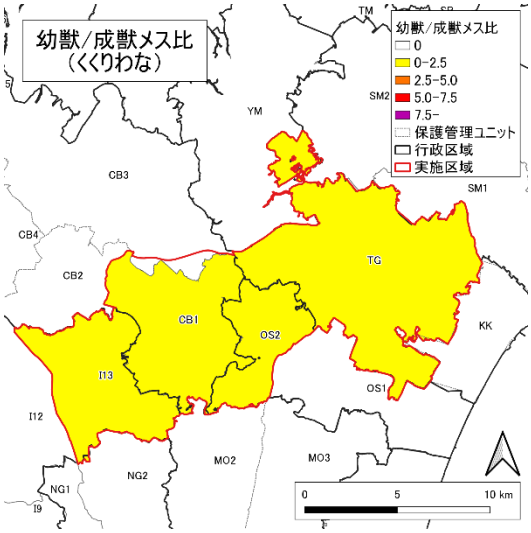

図１－６　幼獣/成獣メス割合
（くくりわな）

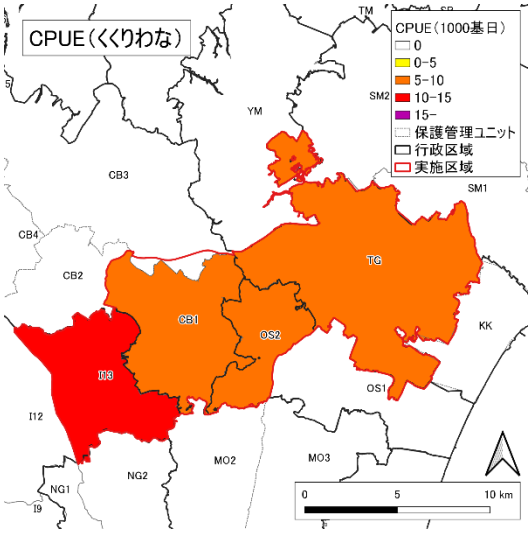

図１－７　CPUE（くくりわな）

１－２　令和２～４年度事業における捕獲結果

- 中部地域全域ではくくりわな、箱わなともに CPUE は増加傾向を示した。
- わな数はくくりわな、箱わなともに増加したが、わな日は箱わなで減少した。
- 成獣メス割合、幼獣割合はくくりわなで横ばいである一方、箱わなでは年度間の差が大きい。
- くくりわな CPUE はすべてのユニットで増加傾向を示し、I13（市原市）では R3 年度より継続してもっとも高い値を示した。
- くくりわな成獣メス割合は CB１（千葉市緑区）を除き減少傾向にあり、CB１では微増した。
- 捕獲数の多いくくりわなではオス割合は 40%～50%台で推移している。

表１－２　令和２～４年のわな数

くくりわな		R2	R3	R4
千葉市緑区	CB1	36	36	50
市原市	I13	71	40	56
大網白里市	OS2	71	40	74
東金市	TG	46	43	86
中部全域		224	159	266

箱わな		R2	R3	R4
千葉市緑区	CB1	2	2	2
市原市	I13	6	6	5
大網白里市	OS2	3	2	5
東金市	TG	5	5	5
中部全域		16	15	17

表１－３　令和２～４年のわな日

くくりわな		R2	R3	R4
千葉市緑区	CB1	4,068	4,140	5,026
市原市	I13	4,407	4,640	5,456
大網白里市	OS2	4,293	4,332	5,610
東金市	TG	4,514	4,640	2,911
中部全域		17,282	17,752	19,003

箱わな		R2	R3	R4
千葉市緑区	CB1	226	230	238
市原市	I13	452	464	472
大網白里市	OS2	232	228	238
東金市	TG	565	580	105
中部全域		1,475	1,502	1,053

表１－４　令和２～４年の空はじき率

くくりわな		R2	R3	R4
千葉市緑区	CB1	2.46	0.72	1.99
市原市	I13	19.97	19.40	16.86
大網白里市	OS2	15.84	28.16	4.28
東金市	TG	7.31	10.34	15.12
中部全域		11.51	14.82	8.95

箱わな		R2	R3	R4
千葉市緑区	CB1	0.00	0.00	0.00
市原市	I13	6.64	2.16	12.71
大網白里市	OS2	4.31	43.86	0.00
東金市	TG	0.00	1.72	0.00
中部全域		2.71	7.99	5.70

表１－５　令和２～４年の成獣メス割合

くくりわな		R2	R3	R4
千葉市緑区	CB1	20.83	24.00	25.00
市原市	I13	26.92	32.43	23.08
大網白里市	OS2	26.67	40.00	26.19
東金市	TG	47.06	42.86	37.50
中部全域		28.87	33.98	25.75

箱わな		R2	R3	R4
千葉市緑区	CB1	0.00	0.00	0.00
市原市	I13	3.70	14.81	18.18
大網白里市	OS2	0.00	100.00	5.00
東金市	TG	0.00	0.00	50.00
中部全域		1.92	16.67	13.04

表１－６　令和２～４年の幼獣割合

くくりわな		R2	R3	R4
千葉市緑区	CB1	50.00	52.00	43.18
市原市	I13	57.69	40.54	47.69
大網白里市	OS2	63.33	45.00	50.00
東金市	TG	41.18	23.81	43.75
中部全域		54.64	40.78	46.71

箱わな		R2	R3	R4
千葉市緑区	CB1	100.00	0.00	100.00
市原市	I13	88.89	85.19	72.73
大網白里市	OS2	100.00	0.00	85.00
東金市	TG	100.00	100.00	50.00
中部全域		94.23	83.33	78.26

表１－７　令和２～４年のオス割合

くくりわな		R2	R3	R4
千葉市緑区	CB1	54.17	52.00	43.18
市原市	I13	53.85	51.35	50.77
大網白里市	OS2	50.00	55.00	45.24
東金市	TG	41.18	42.86	43.75
中部全域		50.52	50.49	46.71

箱わな		R2	R3	R4
千葉市緑区	CB1	28.57	0.00	50.00
市原市	I13	51.85	37.04	50.00
大網白里市	OS2	20.00	0.00	80.00
東金市	TG	66.67	0.00	0.00
中部全域		40.38	33.33	60.87

表１－８　令和２～４年の CPUE（1000 台日あたり）

くくりわな		R2	R3	R4
千葉市緑区	CB1	5.9	6.0	8.8
市原市	I13	5.9	8.0	11.9
大網白里市	OS2	7.0	4.6	7.5
東金市	TG	3.8	4.5	5.5
中部全域		5.6	5.8	8.8

箱わな		R2	R3	R4
千葉市緑区	CB1	31.0	0.0	8.4
市原市	I13	59.7	58.2	46.6
大網白里市	OS2	64.7	4.4	84.0
東金市	TG	5.3	3.4	19.0
中部全域		35.3	20.0	43.7

２　生息状況調査の結果

２－１　令和４年度調査結果

- 市川市の I13 において最も痕跡密度が高かった。
- 痕跡密度は実施区域の北側で低くなった。
- 撮影頻度は実施区域の南側で高くなった。
- 成獣メスの撮影頻度も実施区域の南側で高くなった。

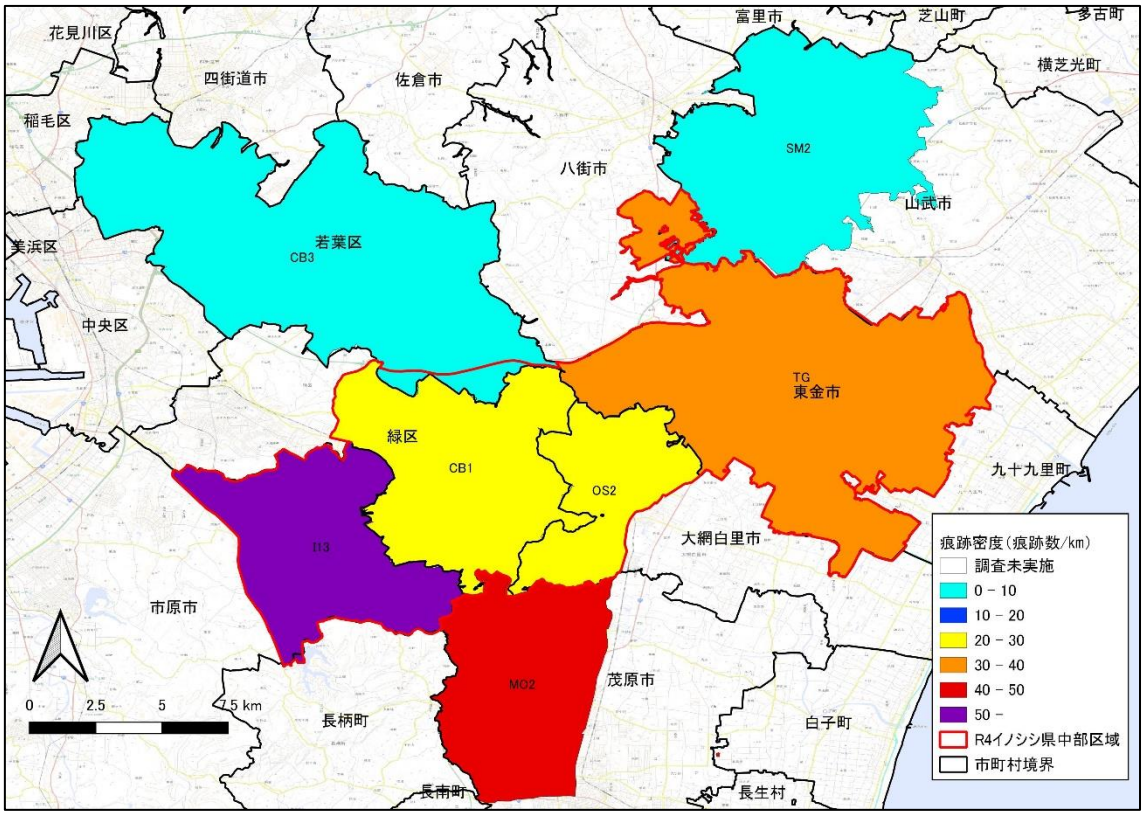

図２－１　イノシシの痕跡密度

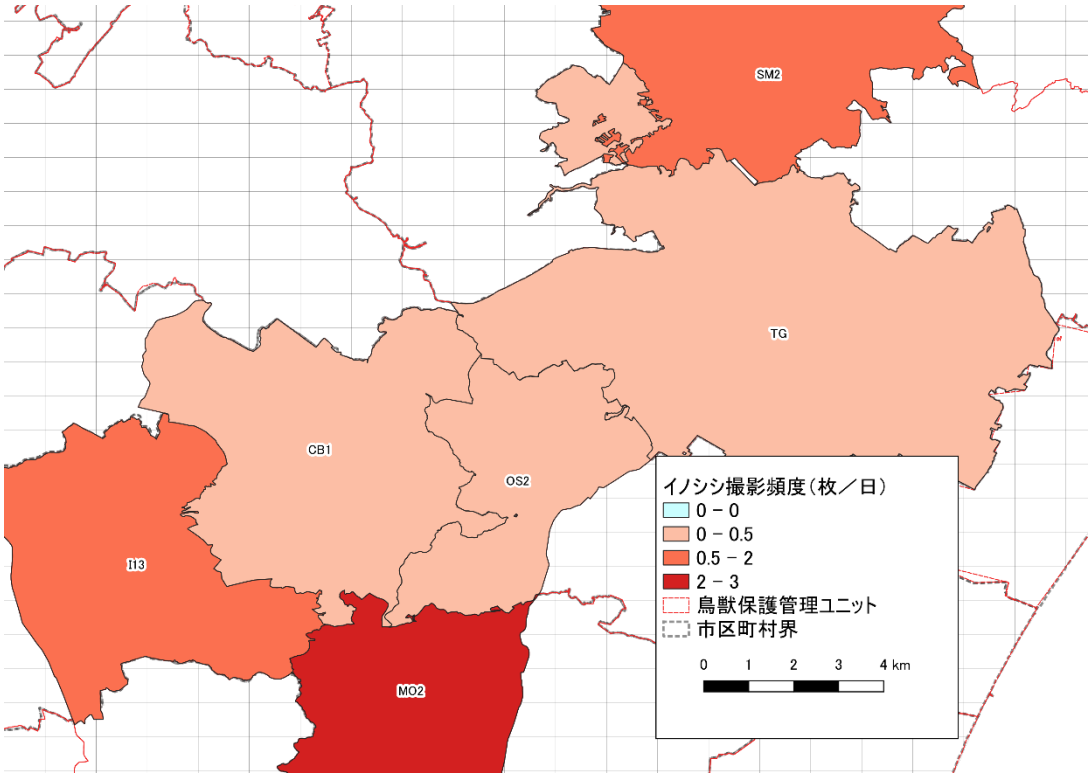

図２－２　イノシシの撮影頻度（令和４年１～11 月）

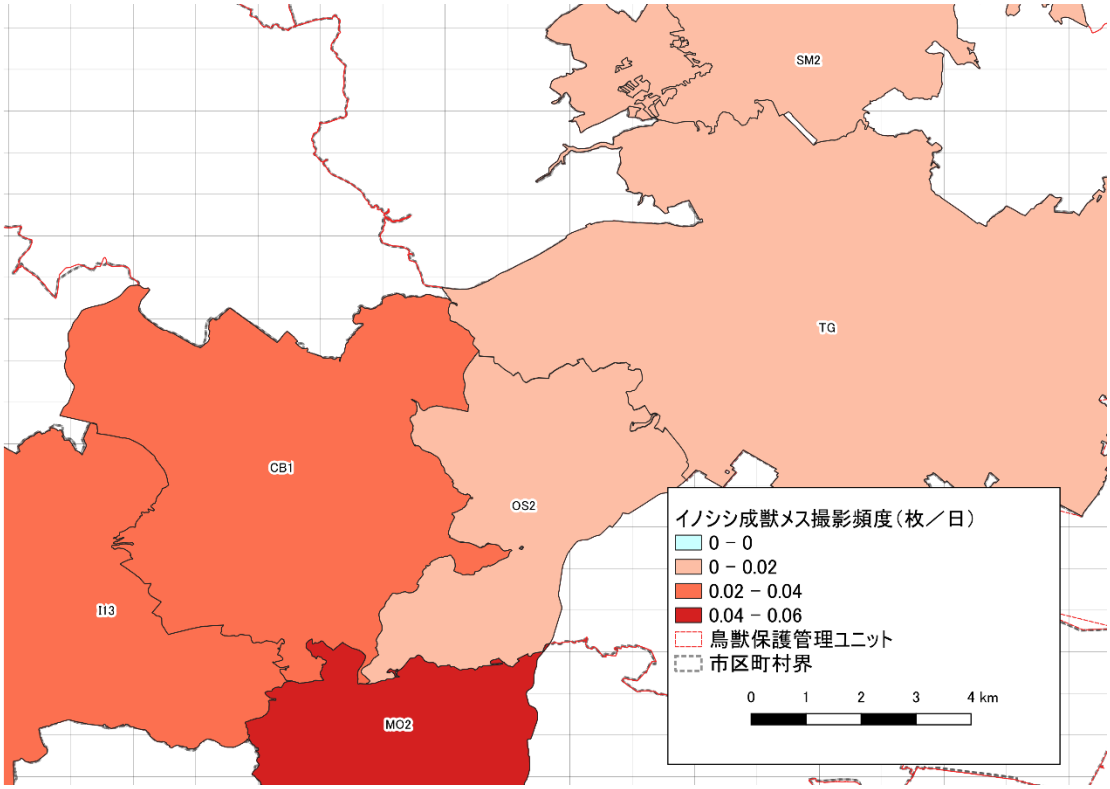

図２－３　イノシシ成獣メスの撮影頻度（令和４年１～11 月）

２－２　経年変化

- 平成 27 年度以降、継続して調査しているほとんどのユニットで、調査開始時よりも痕跡密度が高くなった。
- 令和４年度は、特に I13 で痕跡密度が高くなった。
- 撮影頻度もすべてのユニットで概ね増加傾向となった。

表２－１　平成 27 年度～令和４年度までのユニットごとの痕跡密度の比較

ユニット	H27	H28	H29	H30	H31	R02	R03	R04
	痕跡密度（個/km）	痕跡密度（個/km）	痕跡密度（個/km）	痕跡密度（個/km）	痕跡密度（個/km）	痕跡密度（個/km）	痕跡密度（個/km）	痕跡密度（個/km）
CB1	-	-	12.62	44.67	2.83	18.10	103.80	25.68
CB3	-	-	-	-	0.31	8.51	45.26	5.76
I13	-	-	-	-	2.62	39.19	234.17	72.10
MO2	2.57	0.00	3.79	18.48	15.31	16.19	161.19	46.64
OS2	-	-	2.75	28.23	18.82	14.91	164.43	27.70
SM2	-	-	-	-	-	-	154.06	9.03
TG	-	-	-	-	-	20.43	239.44	35.38

密度低　　密度高

「－」：調査されていないため、データ無し

R03：調査方法が異なるため比較なし

表２－２　平成 27 年度～令和４年度までのユニットごとの撮影頻度の比較

市町村	ユニット	H27	H28	H29	H30	H31	R02	R03	R04
		撮影頻度（枚/日）	撮影頻度（枚/日）	撮影頻度（枚/日）	撮影頻度（枚/日）	撮影頻度（枚/日）	撮影頻度（枚/日）	撮影頻度（枚/日）	撮影頻度（枚/日）
千葉市	CB1	－	－	－	－	0.111	0.107	0.162	0.434
市原市	I13	－	－	－	－	－	0.357	0.385	0.768
茂原市	MO2	－	－	0.452	0.482	0.709	0.503	0.677	2.907
大網白里	OS2	－	－	－	－	－	0.138	0.251	0.502
山武市	SM2	－	－	－	－	－	－	－	0.724
東金市	TG	－	－	－	－	－	0.000	0.082	0.359

頻度低　　頻度高

「－」：調査されていない、もしくはカメラ設置期間が６か月以下のものは比較対象外とし、データ無し

※データは、１～11 月で集計

２－３　まとめ

ユニットごとの密度指標値を平均０、標準偏差１になるように標準化し、各年度、ユニットで平均値を取ることで統合密度指標を算出した。

➢　全てのユニットで概ね増加傾向となった。

表２－３　平成 27 年度～令和４年度までのユニットごとの統合密度指標の比較

ユニット	H27	H28	H29	H30	H31	R02	R03	R04
CB1	－	－	-0.03	1.87	-0.47	-0.03	-0.24	0.53
CB３	－	－	－	－	-0.75	-0.27	－	-0.43
I13	－	－	－	－	-0.62	0.85	0.21	2.24
MO2	-0.62	-0.77	-0.10	0.36	0.50	0.32	0.81	3.66
OS2	－	－	-0.61	0.90	0.34	-0.09	-0.06	0.66
SM2	－	－	－	－	－	－	－	0.33
TG	－	－	－	－	－	-0.07	-0.40	0.74

値低　値高

「－」：データ無し